

北上市立
鬼の館 だより2018 (H30) . 3
第48号

企画展「鬼剣舞写真帖」を開催しました

平成 29 年度は「鬼剣舞を深める」ことを重点に取り組んできた鬼の館ですが、最後は企画展「鬼剣舞写真帖」で締めくくりました。昭和 26 年からごく最近までの 200 点余りの写真を見て、懐かしむだけではなく、その年代の様々なことを読み取ることができ、記録保存することの大切さを改めて知ることができました。

「あの高嶺 鬼すむ誇り」と謳う北上市民憲章。鬼の館は、今後も「鬼とは何者なのか？」を追究して、活動していきたいと考えています。

初めて来館されたお客様、何度も足を運んでくださったお客様、皆様に喜んでいただけるよう、来年度も取り組んでまいります。

—— 鬼の館平成 29 年度下半期をふりかえって ——

福豆鬼節分会 「福はうち！鬼もうち！」

2月4日、福豆鬼節分会を開催しました。前日は雪が降り空模様が心配されましたが、当日は天候に恵まれ、4,600人の来場者でにぎわいました。初めに豆の祈禱を行い、イベントの成功を祈願した後、岩崎地区青年会が木ボラ吹きや庭田植えなどの習俗を再現しました。メインの福豆まきでは鬼が登場し、当館ならではの「福はうち、鬼もうち」の掛け声で豆をまきました。

芸能公演はイベントを通して行い、この日は地域の民俗芸能団体が多数出演しました。かわいらしい園児から迫力のある大人まで様々な世代による公演に、来場したみなさんが見入っ



鬼が登場！「さあ、まくぞ〜！」

ていました。

毎年恒例の恵方巻き体験では、60名ほどが参加しました。20メートルを超える恵方巻きが完成し、参加者全員がステージ上で南南東を向いて試食しました。

中盤の大声を競うゲーム「雷鳴放射コンテスト」では、審査員も悩むほど、どの子どもたちも大きな声が出ていました。鬼の館にいる鬼たちもきっと驚いたのでは…。

最後に餅まきをし、今年の節分会も盛況のうちに幕を閉じました。

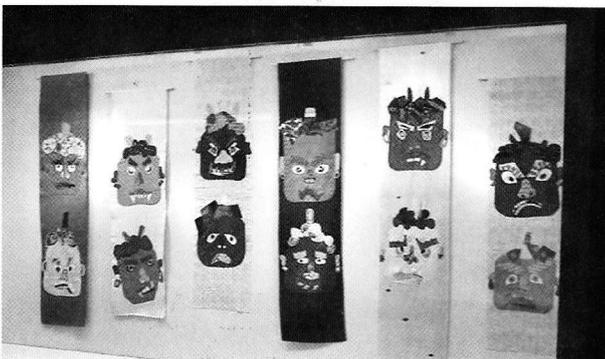
来年もみなさんに楽しんでいただけるようなイベントにしていきたいと思います。



大きい声が会場中に響きます！

泣いた赤鬼クラフト展

宮城県石巻市在住の布絵作家、大島八寿子さんの「泣いた赤鬼クラフト展」を9月16日から11月12日まで開催しました。童話「泣いた赤鬼」に感銘を受けた大島さんが作り上げた25枚のタペストリー。50人の個性ある鬼が、訪れる人々に何かを語りかけます。見学している子どもたちに「笑っている鬼はどれ？」「困っている鬼は？」「怒っている鬼は？」等と問いかけてみると、ちゃんと見つけて答えてくれました。企画展示室の中には、鬼と対話を楽しむ、優しい空気が流れていました。



いろんな鬼が、ずら〜り！

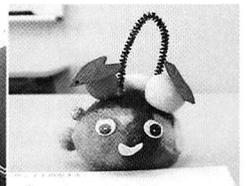
冬休みワークショップ

冬休みに「鬼ッズ版画カレンダー」「ようかいペーパーウェイト」「鬼剣舞和紙面づくり」の3つのワークショップを行いました。

「ようかいペーパーウェイト」では好きな色の羊毛を石ころに巻き付け、石けん水をなじませてフェルト化させ、重石をつくります。石けんを洗い流して乾燥させたら鬼やようかいの顔やパーツの飾り付け。オリジナルの鬼やようかいを楽しみながら制作し、完成した作品に思い思いの名前を付けました。他の参加者の作品を見る鑑賞タイムでは「かわいいね」「すごい！」と感嘆の声があがっていました。



ハートが大すきなようかい↓

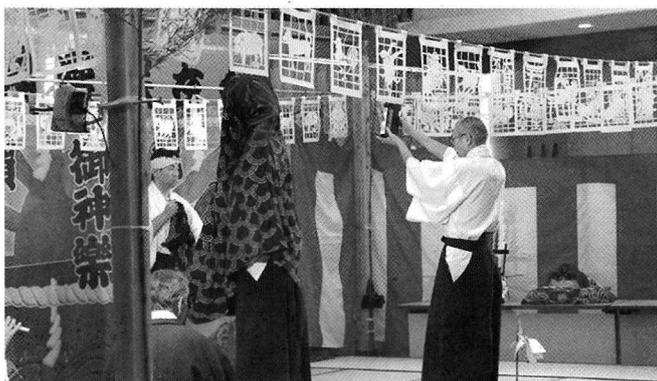


どんな“ようかい”をつくらうかな

新春大乗神楽公演

北上市文化財活性化実行委員会主催による新春大乗神楽公演が、1月7日に鬼の館で行われ、市内の5保存会によって、12演目が披露されました。

鬼の館のエントランスホールに、神楽の舞台が特設されます。その中でも、一際目を引く美しい飾りがあります。舞台の上、四方に張りめぐらされた、干支をかたどった切り紙です。一つ一つ、願いを込め手づくりされたものです。その干支飾りの下、新春を寿ぎ、今年一年の幸福を祈願し、神楽が粛々と舞われました。



舞台の四方を囲む、干支飾りに注目

鬼っこわんぱく講座

4才の年少児から小学3年生まで、鬼剣舞大好きな子どもたちが16人集合、元気に「鬼剣舞体験」講座を頑張りました。

大きな子どもはより正確に力強く、小さな子どもは長い刀に悪戦苦闘しながら、「刀剣舞の狂い」を5回にわたって練習し、福豆鬼節分会の中でその成果を発表しました。

黒西小1年の伊藤郁哉さんは「おにけんばいがいすきです。ほかの学校のお友だちもできて、うれしかったです。すこしずつおにけんばいがおどれるようになって、とてもワクワクしました。」と閉講式で感想を発表しました。



鬼剣舞の衣装を身に付け、練習の成果を披露

鬼とにらめっこスケッチの会

昨年に続き、鬼をじっくり観察しスケッチに挑む「鬼とにらめっこスケッチの会」を12月17日に実施しました。参加者は、小学生4人、大人3人。常設展示室の毘沙門天立像を囲んで座り、それぞれじっくり毘沙門天立像とにらめっこした後、発見した特徴を教え合ったり、立ち姿の真似をしたりしました。何気なく見ていると見えない細かな気づきを参加者みんなで共有しました。スケッチタイムには同じ鬼を描く親子や別々な鬼を描いて見せあう親子の姿も。描いたスケッチ作品は新しい一年のカレンダーと一緒にラミネート加工しお持ち帰りいただきました。



毘沙門天とにらめっこ

よく見て描くよ!



鬼剣舞衣装新調

今年度も子どもも用鬼剣舞衣装2着を新調しました。相去町の株式会社岩手ヤクルト工場様（有川敏治代表取締役社長）から、地域貢献の一環として市へ第10回きたかみヤクルトフェスティバルの益金10万円の寄附があり、これをもとに市内の呉服屋さんへ仕立てを依頼していたものです。同社から市への寄附は10年連続で、鬼の館で活用させていただくのは2年連続となりました。

これで鬼の館の鬼剣舞衣装はサイズが120cm 5着、140cm 2着、160cm 3着となりました。毎月第3日曜日の鬼ZZZの日の着衣体験や、夏冬の鬼っこわんぱく講座の発表会などで大活躍しています。



新品の衣装で

ごきげん!



学芸ルームから

多様な鬼の表現を求める

…創作活動を通して…

主任学芸員 後藤 美穂

鬼学講座内容

① 2月 24日 ② 3月 10・11日 ③ 3月 24日

① 鑑賞・創作「暮らしに鬼を、小さな鬼のレリーフ」

講師 専任研究員 小原芽衣

② 鑑賞・創作「鬼をめぐる一つの物語から作るタペストリー」

講師 布絵作家 大島八寿子氏

③ 講演 「水虎之図」をひもとく

講師 もりおか歴史文化館

学芸員 福島茜氏

今年度の鬼学講座は「鬼の表現の多様性」をテーマに、全3回のうち2回の講座で創作活動を取り入れました。これまで座学や移動学習を中心に開催してきましたが、資料の鑑賞を通じご自身でも創作活動に挑戦していただくというもので、当館では初めての試みです。



このうち第2回の「鬼をめぐる一つの物語から作る布小物」の講座では、昨秋の特別展「泣いた赤鬼クラフト展」の布絵作家である大島八寿子さん（宮城県石巻市在住）をお招きし、布絵作りに挑戦しました。

顔、目、耳、鼻、角などの用意された無数のパーツの中から様々な組み合わせを試し、お気に入りの鬼の表情を仕上げていく受講者の皆さん。「ルールは無いから自由に取り組んでみてください」と講師のアドバイスを受け、この世に一つしかない鬼の布絵を完成させました。時には無言で針を進め、また時には他愛もない世間話で盛り上がりながらの2時間でした。

完成した布絵を見て講師の大島さんが「これは姫かしら？わがままな姫？」と尋ねる場面では一同大爆笑。作品の針目が揃わず不安がる受講生も、鬼の表情が出来上がるにつれ「なんだかかわいく見えてきた！」と喜んでいました。

興味深かったのは、完成した布絵を使って受講生同士で即興の鬼物語が始まったことです。一人の男鬼をめぐる二人の女鬼の争い…と、どこかで

聞いたことのあるような鬼のお話でしたが仕上げた布絵はすでに個性をもって歩き始めているようでした。

この講座では、選んだパーツはもちろん、どう配置するかも鬼の表情が全く異なって見えることを実感しました。置き方を変えるたびに「これはちょっと怒っているね」「これは拗ねてる感じ」と感想を言い合い、どんなシチュエーションでこんな表情をしているのかまで思いを巡らせました。細かな違いが全体の印象に与える影響はとて大きなものでしたし、そこに沢山のメッセージを潜ませることができることも学びました。

この講座では一つの布絵を仕上げ持ち帰っていただきましたが、顔を細かく観察する“心の目”も得たように思います。古今東西、鬼を描いた作品は沢山あります。そこにどんなメッセージがあるのか、読み取る余地はまだまだあることを痛感した二日間でした。



講師の大島八寿子先生



平成30年度事業のお知らせ

特別展・企画展

詳細は、決まりしだい北上市ホームページ
においてお知らせいたします。

鬼っこわんぱく講座

5月5日(土・祝) こどもの日わくわくイベント
7月～8月 夏季鬼剣舞体験(全6回)
1月～2月 冬季鬼剣舞体験(全6回)

鬼ッズプレイミュージアム

7月～8月 夏休みワークショップ
12月～1月 冬休みワークショップ
毎月第3日曜日 鬼ッズの日

鬼ッズの日

鬼剣舞の衣装を着たり、張り子のお面を作ったり、
鬼ッズの日限定クイズ片手に展示室を探検してみよう!

鬼剣舞着衣体験 先着10人
開催時間：午前9時30分～11時
所要時間：約40分
料 金：無料

和紙面作り 先着10人
開始時間：午後1時30分
所要時間：約1時間
料 金：500円



※各開始時間15分前から受付で整理券を配布。鬼ッズの日以外に体験を希望する場合には別途ご相談ください。

※各イベントに関する日時、詳しい内容等はお問い合わせください。

逢魔が時ナイトミュージアム

9月1日(土)

ワールドウィーク

10月25日(木)～31日(水)

福豆鬼節分会

平成31年2月3日(日)

「福はうち、鬼もうち」の掛け声で豆まきを行い、一年の福を呼び込みます。お振る舞いや芸能公演など、内容盛りだくさんの冬まつりイベントです。



鬼学講座

2月～3月(全3回)

芸能公演

4月22日(日)
5月4日(金・祝)
5月13日(日)
5月27日(日)
6月24日(日)
7月22日(日)
8月14日(火)
8月26日(日)
9月23日(日・祝)・10月7日(日)・10月28日(日)
11月4日(日)・12月2日(日)・3月24日(日)



退任のご挨拶

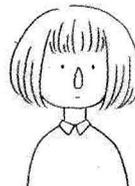


主任学芸員 後藤 美穂

4月から文化財課へ異動することになりました。震災直後の平成23年4月から7年間、鬼の館で地域の皆様に支えていただきとても幸せな時間を過ごすことができました。

民俗芸能に携わる皆さんの姿に触れて心打たれ、それを伝える仕事ができただけは学芸員としてこの上ない喜びです。

鬼の館が「何度訪れても楽しい発見がある博物館」に成長していくことを心より願っております。ますますのご支援ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。



専任研究員 小原 芽衣

新鮮な毎日に圧倒され、あっという間に1年が経ってしまいました。短い期間ではありましたが、日々の中で感じた事は、鬼の館が様々な人に愛され、支えられている博物館だという事です。特に民俗芸能を愛する子どもたちが真剣な表情と一緒に身体を動かしている様子を見ると、こちらの心まで踊るようでした。

また、ワークショップや鬼学講座の講師をさせていただいた事は、ものづくりを学んできた者として何ものにもかえ難い喜びでありました。

鬼の館のさらなる発展をお祈りしております。職員の皆様はじめ、地域の皆様、関係者の皆様ありがとうございました。

事業報告

●企画展・特別展

特別展「泣いた赤鬼クラフト展」
9月16日(土)～11月12日(日) 3,398人
企画展「鬼剣舞写真帖」
12月9日(土)～3月18日(日) 6,384人

●芸能公演

10月22日 二子鬼剣舞 観客 104人
11月5日 滑田鬼剣舞 観客 113人
12月3日 岩崎鬼剣舞 観客 81人

●鬼学講座

第1回2月24日 受講者 5人
暮らしに鬼を！ちいさな鬼レリーフ
第2回3月10日・11日 受講者 24人
鬼をめぐる一つの物語から作る布小物
講師:大島 八寿子 氏(布絵作家)
第3回3月24日
『水虎の図』をひもとく～“江戸のカップ”事典”にみるユニークな生態～
講師:福島 茜 氏(もりおか歴史文化館 学芸員)

●ハロウィンウィーク

10月23日～10月31日 560人

●福豆鬼節分会

2月4日 観客 4,266人

●鬼ZZ・プレミュージアム 10月1日～3月23日

和紙面づくり (イベント等での面作りを含む総数) 参加者 67人
鬼剣舞衣装着衣体験 参加者 55人
<冬休みワークショップ>
12月23日 鬼ZZ版画カレンダー 参加者 19人
12月24日 ようかいペーパーウェイト 参加者 11人
1月14日 鬼剣舞和紙面づくり 参加者 4人

●鬼っこわんぱく講座

冬季鬼剣舞体験
1月6日・13日・20日・27日・2月3日・4日
参加者 16人

●鬼とにらめっこスケッチの会

12月17日 参加者 7人

利用案内

開館時間 午前9時から午後5時
(入館は午後4時30分まで)

休館日

- ・12月～3月の月曜日
- ・12月～3月の国民の祝日の翌日
(土・日・月曜日の場合は火曜日)
- ・館内整理日(11月28日～11月30日)
- ・臨時休館日(7月2日～7月4日 他)
- ・年末年始(12月28日～1月4日)

入館料

区分	個人	団体	共通観覧券
一般	500円	400円	700円
高校生	240円	180円	300円
小中学生	170円	120円	200円



*未就学児は無料
*団体は20名以上
*共通観覧券は鬼の館の他、北上市立博物館、北上市立利根山光人記念美術館でご利用いただけます。各施設1回ずつ観覧でき、有効期限は発効日より1年間です。

学芸ルームのかたすみで……

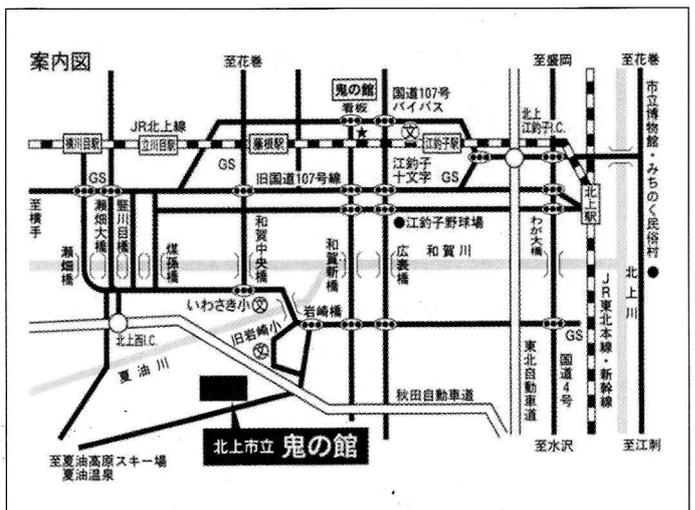
今年の鬼のような冬の寒さもあっという間に過ぎ去り、また新たな年度が始まります。

毎年、「鬼」というテーマであれやこれやと企画やイベントを試行錯誤！ふと振り返ると一年もあっという間に過ぎて行く。

真偽のほどはわからないが、一年という長さは5歳の子供にとっては人生の1/5、20歳では1/20、40代では1/40となるから、歳と共に割合が減るので早く感じるらしい。

さて、今年もどんなお客様が来館するか楽しみです。(鬼笑)

(浅)



交通利用

・JR北上駅より車で約20分
・東北自動車道「北上江釣子 I.C.」
秋田自動車道「北上西 I.C.」より
ともに車で約15分

北上市立鬼の館だより

第48号 2018. 3. 31

編集・発行 北上市立鬼の館

〒024-0321 北上市和賀町岩崎16 地割131 番地

TEL 0197(73)8488 FAX 0197(73)8508